基金創設へ道筋示す

「ねこサポ」充実要望に区長

「公園猫の不妊去勢手術費を全額公費で」との区民の要望に、市の担当と港区長から回答がありました。

要望を出したのは「公園ねこ適正管理推進サポーター」の尾崎キヌ子さんと東城晴美さん（共に池島在住）。この制度は「野良猫が繁殖して困っている」などの苦情に対応して市が昨春発足させたもので、市民と行政が力を合わせて「公園の環境保全と動物愛護の推進」を図ろうという取り組み。尾崎さんらは研修を受け、天保山公園で活動してきましたが、この中で、「不妊・去勢手術費の自己負担（約五千円）がサポーター希望の市民にとって〝壁〟になっている」ことを感じ、「この制度を市民のものとして一層充実・浸透させる立場」から五月三日、「不妊・去勢手術費の全額公費負担を基金創設などの形で実現してほしい」「市全体で無理なら港区独自でも」と求める書簡を市長と区長宛てに出したのです（前号1面既報）。

▲大阪市と港区からの回答を受け、「公園ねこの不妊・去勢手術費用の全額公費負担へさらに働きかけを強めたい」と語る尾崎キヌ子さん㊥ら＝天保山公園で

◆大阪市は事実上拒否

これに対して五月二十五日付で返事が届きましたが、橋下市長から対応を委ねられた担当部署（大阪市ゆとりとみどり振興局）は「避妊去勢手術の費用を全額公費負担とすることは事業の趣旨に合致しない」と事実上の拒否回答。

一方、田端区長は、「避妊去勢手術の費用を全額公費負担とすることは困難」としながらも「事業の充実に向けて検討していく」ことを約束。その上で、港区独自での実施には「公費投入への区民・地域の賛同」が、また基金創設には「全市的な賛同（議会の議決）と区民・地域の強い意向を前提としての条例制定」が必要であるとし、それぞれの実現へ道筋を示しています。

◆働きかけ強めていく

これらの回答に対し、尾崎さんらは「私たちの要望にきっちり対応して頂き、感謝しています。これからもサポーター活動を続けながら、不妊・去勢手術費用の全額公費負担や、そのための基金創設に向けて、働きかけを強めていきたい」と話しています。

心通う地域社会に

町会総会　それぞれの味

区内の町会は二年に一度の役員改選期。総会を開く町会は少数派ですが、その二つに参加しました。基本は踏まえながらもそれぞれの個性が窺えました。

田中三丁目町会は五月二十日朝、田中三丁目集会所で。①町会事業報告②集会所事業報告③三津神社・地蔵尊事業報告―等が各担当から詳しく報告され、拍手で承認。新役員を代表して南浩二郎会長らが「明るい、良い街になるよう力を合わせましょう」と諸行事への協力を呼びかけ。最後に避難・消火訓練も実施されました。全体として詳細・丁寧な運営が印象的でした。

弁天五丁目東町会は五月二十六日夜、港区民センターで。小さな町会でありながら百人超が出席。新旧役員紹介、会計・監査報告承認の後、小川宏会長が「近隣での普段の絆の大切さ」を強調、十四年続く救命講習会への積極参加を呼びかけました。このあと会食を楽しみながらのカラオケ大会が始まり、最後は全員で「故郷」を合唱、和気藹々のうちにお開きとなりました。全体として交流に重点を置き、楽しめる総会としていたのが印象的でした。

詳細な報告ぶりが印象的だった田中3丁目町会の総会

懇親に重点が置かれた弁天5丁目東町会の総会風景

読者コーナー

読者の皆さんの投稿を歓迎します。内容は自由ですが、掲載・不掲載の決定や文章上の調整は本紙で行ないます。匿名でもかまいませんが、内容確認などのため、必ず本紙と連絡がとれるようお願いします。手紙かハガキかファクスかメールで送って下さい。

自転車に乗るときは心にゆとりをもって

（田中・65歳男性S・M）

自転車事故が多い、と聞く。実は私もヒヤッとしたり、ぶつかりそうになったりしたこと数知れず、ついに転倒して骨折、入院したことがある。それ以後、自転車に乗るときは「心にゆとりをもって」を心がけている。急に止まらない、急に曲がらない、狭い道は向こうから来た人や自転車が通りすぎるのを待つ。ゆずる―ということが自然にできるようになった。最近は、通りすぎていく人の中に、頭を下げていく人が多くなってきた、と思い、こちらもうれしくなってくる。先日、仕事に向かっている途上、いつものように道をゆずっていると、通りすぎたあと、わざわざ戻ってきて、「いつもありがとうございます。マナーのよいのに、いつも感謝しています」といわれて、恐縮してしまった。「さわやかで事故のない港区に」と改めて思ったことである。

市バスに乗って

（市岡元町・56歳男性）

昨年秋から職場が変わり、市バス通勤となりました。そしてこの四月、バスが全て低床型に変わったことで新しい発見をしました。

まず、車椅子の人がバスを選ばずに乗れるようになったこと。次に、低床型といっても低い所の座席が少なくなってしまったこと。実はこれは悪いことではなく、みんな何となく、お年寄りや困っている人に席を譲るようになりました。何か大阪人の良い所を垣間見ることができたように思います。

次に、車椅子の人が乗っていた時のことです。その人が降りるバス停に近づくと、営業車がドーンと停まっていて、車椅子の人が降りられる所までバスが近づけません。運転手がクラクションを鳴らすも反応なし。結局ギリギリの幅寄せでバスを近づけ、何とかセーフ。その間も乗客は、営業車に怒り、また、バスがうまく行けるか固唾を呑んで見守り、行けたらみんなでホッとしました。

何だろうか、この一体感。忘れていたものが一気に溢れ出てきたような、ほっこりした時間をもらったように思います。その後、営業車を動かしに戻ったサラリーマンに、おばさんたちの罵声が飛び交ったことを付け加えておきます。

読者の作品から辻悦子さん（市岡元町3）の絵手紙

問題解決へ前向きな ねこサポ活動に希望

（波除4・女性）

「公園ねこサポーター」（前号1面）に興味を持ちました。ともすれば、動物が好きな人とそうでない人との間で問題が起きそうな猫への餌やりに対して、行政の力を借りて前向きに取り組み、解決の道を探ろうとされているサポーターの方々の姿に、希望を感じましたこれからもがんばってほしいです。

マンション住民らのゴミ出し協力に感動

（市岡・60代男性）

私自身マンション住民として感動したのが、「地域も心も美しく」というタイトルの記事（前号3面）でした。うちのマンションも特に協力がないという訳ではありませんが、やはりゴミ出しでは管理人さんが苦労されているようです。忙しい現代人の生活の中で無理もないとは思うのですが、ちょっとの話し合いや協力や工夫で、この記事のような素晴らしい結果になるというのは、本当に勉強になりました。

催しガイド

■ワークみなと「東北食品市」　東日本大震災で被災した福島県いわき市の精神障害者作業所が地元産の材料と昔ながらの製法で作った体と心に優しい豆腐・豆乳・青豆豆腐・ドーナツ等を販売し、復興努力を物心両面で支援。毎月第二・第四火曜十五時半から（売切御免）▽ワークみなとは主に精神障害者を対象とした就労継続支援B型の指定障害福祉サービス事業所（夕凪二―六―三、TEL・FAX六五七一―七五一一）。

■自閉症児を応援する気エネルギーワーク　プロの気エネルギー療法士が「自閉症児の体や心が少しでも楽になれば」と続けている。「気楽な参加」を呼びかけ。参加費無料。要予約。毎月第二・第四土曜（六月は二十三日、七月は十四、二十八日）十五～十八時に松井整骨院内で。弁天四―一〇―二六、☎六五七二―一一六五。

■ムチ打ち（首・腰）無料相談会　六月二十四日（日）十～十八時に行政書士のむら事務所（築港三―七―一―六〇八）で。交通事故でムチ打ちになった被害者が対象。一人約一時間。「どうしたら正当な補償が得られるかをアドバイスします」「事故後、早めの相談が良い結果につながります」（同事務所・野村光恵さん）。電話（六五七六―六〇七八）かEメール（info@jiko110-nomura.com）で要予約。

■「放射能と原発―知ろう、語ろう、行動しよう」第4回　DVD『スイシンジャ～異形編』の上映・学習・感想会。DVDは原発推進派と反対派の主張のポイントを判り易く表現したネットで話題の寸劇。小出裕章・京都大助教も出演。六月三十日（土）十四～十六時、三里塚産直野菜の会（磯路二―三―九、三社神社南すぐ）で。参加無料。☎六五七二―〇一三〇同会。

■「マンション管理交流会」に参加しませんか　市岡ハイタウン（磯路）で管理組合理事をしている女性が「組合運営や建物修繕などマンション生活の様々な問題を気軽に出し合い交流しましょう」と呼びかけ。各マンション二名位で年一～二回予定。第一回は顔合わせを主目的に七月二十九日（日）十四時から港区民センター「楓」で。参加費無料。問合せは山口伸枝さん（携帯〇九〇―九二七五―九九九一、FAX六五七一―六二五四、メール：mon-respect@ezweb.ne.jp）まで。

■緑の地球ネットワーク（GEN）夏の黄土高原スタディツアー　中国の黄土高原を訪問し、緑化協力の成果を観察。村人と交流し、失われた緑を取り戻す試みを体験。活動二十周年記念イベントも併せて八月十九～二十五日に実施。費用は運賃・宿泊費・食費含め十七万円他。申込締切七月五日・先着順▽GENは中国山西省大同市の黄土高原で九二年から緑化協力を続ける認定特定非営利活動法人。地球環境のため国境を越えて力を合わせている▽詳細はGENの事務所（市岡一―四―二四―五階、☎六五七六―六一八一）へ。

子や孫に自分の人生をのこそう！
お話をききとり、冊子にしてお渡しします。
400字（原稿用紙1枚）で千円が標準料金です。
島根県から上阪し、金属系企業で働きながら労働運動にも力を注いできました。全国的な運動退潮の中、10数年前に第一線を退きましたが、この間の経験と教訓がいつの日か運動の再興に役立てばとの思いから港新聞に相談し、冊子にしてもらいました。（70代男性）
★文書全般の代筆も承ります★
港新聞・飯田編集事務所 ☎6571-4636

駐車場 月極 18,900円（税込）
★24時間入出庫可
★屋内につき安心
★敷金なしでも可
★車庫証明発行可
大好評受付中 ミドルルーフ車
車庫高さ1.85m
カービレッジ216
港区磯路２丁目１-４
<営業>AM8時～PM8時
☎6577-8731
中央大通り・みなと通り・43号線・市岡中・りそな銀・オリックスコーポ・ゆめホーム・大和医院・港郵便局・（朝潮橋方面）・（九条・境川方面）

被災地農民を支援します。
反原発の声をあげよう！
ご協力下さる方はご連絡下さい
三里塚産直野菜の会
磯路2-3-9（三社神社そば）TEL.6572-0130

子犬の家庭教師
～愛犬が問題行動を起こすその前に…～
子犬を間違った飼育環境や接し方で育てていると、甘噛みがひどくなる・ムダ吠えをする・攻撃的になる等の問題行動が起きてきます。子犬だからと放っておくと、ますます状況はひどくなります。愛犬が〝問題犬〟になる前に、子犬を迎えた時からトレーニングを始めましょう！
ドッググッズ＆トリミング Studio for Dog…
弁天4-9-25 マリンコート1F ☎6599-0363 ㊡10:00～19:00 ㊡火曜・第3月曜
動物取扱責任者:山本恵 登録番号:保管060130B（登録H18.10.23～H28.10.22有効）